

芭蕉元禄事業 奥の細道むすびの地「大垣」十六万市民俳句ポスト

平成二十五年十一月度 入選句（投稿総数三千二百六十六句・小中生投句数二千三百七十句）

### 特選

選者 遠藤 幹郎

かさかさとおち葉ふみつ 大垣城 大垣市 有里 萌美(小六)

大垣城は、歴史も古く全国的にも関ヶ原の合戦などで知られ、大垣市のシンボルとなつています。萌美さんも、そんな歴史をたどってみようと天守閣をめざして歩を運んでいたのでしよう。「かさかさとおち葉ふみつ」という表現がよく効いた一句です。木々のおち葉が散りしく道を踏みしめ踏みしめて歩く足音が聞こえてくるようです。

天高しバスケで決めたあのゴール 大垣市 井上 恵太(小六)

バスケットボールの試合で対戦した相手に、きつと恵太くんの一投がゴールポストをくぐりぬけ、勝利を手中にしたのでしよう。この勝利に貢献できた恵太くんの喜びが伝わってきます。その感激した気持ち、「天高し」という一秋の大気が澄み空が広々と高く感じられる一季語と実によく響き合つて表現できました。快いリズム感のある一句です。

鮮やかな紅葉の着物を羽織る山 大垣市 伊藤 伶羅(小六)

紅葉の真っ盛りの山の情景と対面した伶羅さんの感動が見事に詠い上げられた一句です。「鮮やかな紅葉」から、色どりの美しさを表現し、「紅葉の着物を羽織つた」から、着物を羽織つた人に見立てて表現したところに、感性の豊かさを感じさせられます。個性味あふれた表現力に感心しました。

### 秀逸

あきの夜ほしがいっぱいいきれいだな 大垣市 ささき ゆあ(小二)

どんぐりがころころおちておにごっこ 大垣市 市川 侑奈(小四)

もみじがねおけしようをして真赤っか 大垣市 藤本 琴子(小四)

舟下りさくらもみじに手をのぼす 大垣市 前田 歩実(小五)

さつまいもふかふかゆげがたちあがる 大垣市 二神 乃々佳(小六)

もみじちる風でひらひらダンスする 大垣市 塚本 光郁(小六)

わたりどりわたってわたってどこへゆく 大垣市 小野島 雄大(小六)

もう腸でてんてき続く秋の暮 大垣市 高橋 さゆり(小六)

秋まつりたいこおどりの音ひびく 大垣市 水谷 来美(小三)

くりの実がどっさり入ったくりごはん 大垣市 石司 淳果(小四)

入選

秋まつりたいこがドンドンきこえるよ 安八郡輪之内 細野 翔(小三)  
 うすもみじちよつとけししようしおしやれさん 大垣市 小林 しのぶ(小五)  
 ささこぶね秋風ともにながれてく 大垣市 世良 優果(小五)  
 秋の空川一面にうつつてる 大垣市 清水 基晃(小五)  
 秋風とともに旅する舟下り 大垣市 林 真里奈(小五)  
 天高し川にもうつる空の色 大垣市 中村 光里(小五)  
 舟下り大きなビルとすんだ空 大垣市 高木 美夕紀(小五)  
 橋くぐりまた橋くぐってうすもみじ 大垣市 久保 良汰(小五)  
 まどのそとかぜでおちばがまっている 大垣市 子安 華音(小六)  
 秋のにじ七色そまるそら遠く 大垣市 高田 愛美(小六)

入選

ひらひらと静かにまうよもみじの葉 大垣市 杉原 龍佳(小六)  
 もみじまう赤いじゆうたんできていく 大垣市 子安 日南花(小六)  
 もみじの葉キラキラ光りおちていく 大垣市 田中 美羽(小三)  
 もみじはね赤黄緑きれいだな 大垣市 本田 健登(小三)  
 ゆらゆらとみの虫ゆれるブランコだ 大垣市 日比 柊斗(小三)  
 みの虫がいとをかけてねつられてる 大垣市 竹中 真斗(小三)  
 みの虫がブランプランとぶらさがる 大垣市 豊田 礼麻(小三)  
 しんまいはあたらしくてねおいしいな 大垣市 三わ ゆうき(小三)  
 秋刀魚焼き家からおいがあふれだす 大垣市 高橋 歩花(小四)  
 なべの中冬の野菜がてんこもり 大垣市 山浦 志恩(小六)

選者吟

美術館出て黄落の真っ只中

幹 郎